

やまぐち若者MY PROJECT「やまぐち探究サミット」を開催

令和6年2月4日(日)9時から17時に、山口県セミナーパークにて「やまぐち探究サミット」を開催しました。

本サミットは、山口県内で「マイプロジェクト」に取り組んできた高校生が、プロジェクトを通して得た「学び」を共有し、これからの生活で大事にしたいことや踏み出したい一歩について考えることを目的に開催しました。

参加プロジェクト総数は35プロジェクト（県内22校、124名）で、過去最高の参加人数となりました（※1）。

※1：参加高校生数の推移

11校1団体16プロジェクト（2020年）→13校14プロジェクト（2021年）→22校21プロジェクト（2022年）→22校35プロジェクト（2023年）

午前は、5会場に分かれ、各プロジェクトからの学びの発表、サポーター（評価者）との対話質疑を行いました。振り返りでは、プロジェクト実践を通して得た学びや気付いた自身の変容などを言語化したり、他の高校生と対話することで新たな視点を獲得するワークを行いました。

午後は、午前中の5つの発表会場から1プロジェクトずつ代表プロジェクトを選出し、セミナーパーク講堂にて代表プロジェクトによる発表、サポーターとの対話質疑を行いました。最終的に、全国高校生マイプロジェクトアワード全国サミットに選出される山口県知事賞に「USJでも実証されたマーケティング戦略を高校生が「ときわ公園」で試してみた」、
「どこでも開花プロジェクト」が選ばれ、山口県教育委員会教育長賞に「山陽小野田市LABVプロジェクト」、「企画屋の山口活性化イベント」、「「わ」からつながるみらい」が選ばれました。

また、「探究サミット」に参加して得られたことや「マイプロジェクト」に取り組んできて得られたこと、今後のチャレンジに向けた思いなどをステージに上がって語ってくれる高校生を募ったところ、25名もの高校生が手を挙げて、熱い思いを語ってくれました。「知識を吸収して学んでアクションを起こしていきたい。」「人を巻き込んでなんでもチャレンジしていきたい。」「自分のやりたいことを突き通していきたい。」などの高校生の想いを受けて、午後の発表から参加された村岡県知事からは、「高校生の想いに感動したとともに、その想いを応援していきたい。」というメッセージをいただきました。

▼各会場での発表の様子



▼講堂でのリフレクションワークの様子



▼村岡知事へのプロジェクト説明



▼ステージ上での振り返り発表



▼参加者全体集合写真

